

## 2019年度東海地区協議会研究会第5回運営委員会議事録

日 時 2020年2月21日(金) 14:05~17:00  
場 所 愛知工業大学 本山キャンパス2階 多目的室  
出 席 加藤・榎岡(愛知工業大学)、大橋(人間環境大学)、菅野(南山大学)  
田島(愛知学院大学)、山田(愛知淑徳大学)、石田(金城学院大学)  
山際(皇學館大学)、丸(椋山女学園大学)、古川(中部大学)  
坪井(東海学園大学)、澤木(名古屋女子大学)、杉山(藤田医科大学)  
計12校13名

配布資料 1. 2019年度東海地区協議会研究会活動報告  
2. 2020年度研究会(案)について  
3. 2020年度実務担当者研修会(案)  
4. コンテンツ係業務報告(2019年12月~2020年2月)

議事進行は、2019年度委員長校の愛知工業大学・加藤が担当した。

### 議 題

#### 1. 2019年度研究会事業について

主幹事校・大橋委員から、運営委員会に先立って開催された第3回研究会担当者会議(以下、担当者会議)で行われた今年度研究会事業の振り返りで出された意見の報告があり、全体的な感想や反省点などについて意見交換等を行った。主な内容は次のとおり。

なお、今回出された意見等については記録に残し、次年度以降の研究会事業の企画立案等の参考としていく。

#### ○研究会について(第1回・一部業務委託による運営評価を中心に)

- ・(第1回)配付資料準備・印刷(含:講師変更に伴う変更対応)、当日の講師送迎、講演録対応(録音・テープ起し・講師への校正依頼など)については、委託業者(丸善雄松堂)対応により負担は軽減された。(委員長校所見)
- ・第1回『館灯』講演録については、納品された原稿録の内容に確認・修正が必要な箇所(話した際の繋ぎ言葉、指示語など)が多く、結果として編集作業に時間を要することになったことから、業務委託のメリットはあまり感じられなかった。
- ・『館灯』原稿作成を委託する場合は、契約する時点で業務範囲(掲載原稿として読めるレベルまでにブラッシュアップして貰うなど)を明確にした上で行う必要がある。
- ・研究会当日の運営に関しては、通常の研究会と同様であり一部業務委託による負担軽減は感じられなかった。
- ・運営委員の負担軽減については、プログラム・内容の見直し(グループディスカッションを省く、講師による講習・講演のみとするなど)やアンケート業務の分担・実施方法等について引き続き検討していくことが必要である。
- ・グループディスカッションについては時間が足りなかったグループもあり、プログラムの的にはコンパクトにしながらも時間が欲しいという難しい点がある。

#### ○見学会について

- ・従来の施設見学のみではなく、講演で見学先の取り組み状況等を聞くことができ

たことは良かった。今後も講演等を含めた形式で開催できればと思う。

- ・講演時の質疑応答が運営委員以外から出なかったが、他の参加者から積極的に挙手して貰うには、内容的にややハードルが高かった印象を受けた。
- ・講演時には参加者から質問が出なかったが、施設見学時には、多くの参加者が積極的に図書館スタッフに質問をしていたので、参加者にとっても今後の自館の運営等の参考になったものと思われる。結果として大変充実した見学会であった。
- ・今回は現地集合・現地解散としたが、交通費の負担が、参加可否の判断にも影響があるため、観光バスを手配することを検討してはどうか。

※この意見については、運営委員から、2015年度見学会を名古屋駅発の観光バスで関西地区2大学を見学したが、交通渋滞で帰着時間が遅れるなど移動時間の予測が難しかったこと、結果的にバスでの移動時間がかかなり長時間になったことなどの状況を踏まえ、2017年度（京都地区2大学見学）は、原則現地集合・現地解散で検討することになった旨の経緯説明があった。（開催の際は、京都駅集合・市内移動は観光バス利用）

- ・開催時期については、参加側・受入側それぞれの事情もあり課題となる。

## 2. 2020年度研究会事業について

### (1) 研究会（案）について

議事に先立ち、主幹事校・杉山委員から、2回開催に至った経緯説明と承認確認が行われた。（大学事情により1回開催提案で進めたが、協会の受講機会が減ると指摘を受けた。再検討の結果、研究会準備早期着手（2019年夏季より）と業務簡略化した内容で2回開催提案へ変更した。）

開催回数、内容について、改めて承認再確認が行われ、承諾いただいた。

続いて、杉山委員から資料2に基づいて説明があり、協議の結果、第1回研究会検討事項について以下の通り承認された。

なお、第2回研究会については、今後、改めてテーマやプログラム構成案等の検討を進めることとした。

#### ○開催日について

- ・7月3日（金）

#### ○内容について

- ・講師の人はNII側に一任する。講師プロフィールの確認は行わず、開催案内時は所属先等を紹介するに留める。
- ・NIIの各事業の概要説明と、「CAT2020」および「JAIRO Cloud等リポジトリ関連」については詳しく説明頂く。

#### ○プログラム構成（案）について

- ・午後開催とし、グループディスカッションは実施しない。
- ・終了時間は17:00とし、懇親会（意見交換会）は実施しない。
- ・講義前半にも質疑応答の時間を設ける。

#### ○研究会出欠入力フォームについて

- ・事前質問の記載項目を設け、参加者から集まった質問は編集を加えずにそのまま講師にお伝えし、講演プランの参考にして頂く。また、参加者に対しては、事前質問はすべて講師には伝えるが、当日の講演内容等により、必ずお答えすることはできない場合もある旨を予め周知する。
- ・出欠入力フォーム（案）について、
- ・「6.職名」は「6.担当業務」に変更する。
- ・第2回研究会の基礎資料として、原案どおり現在の職員数や雇用形態等を

入力項目に加えるものとするが、この回答をお願いする目的の周知方法等については再度、検討する。

- ・入力フォーム作成は Survey Monkey で行う。

○その他

- ・質疑応答は、参加者からの挙手により行う。(質問票への記載などは行わない)
- ・内容が NII の各事業に関することになるため、「NII」を文言に含めたテーマタイトルを再度検討する。なお、2020 年度研究会事業計画策定のスケジュール上、主幹事校で原案を検討の上、メール審議とする。

(2) 実務担当者研修会（案）について

委員長校から、資料 3 に基づき、開催日程・場所及び各分科会概要等について下記の補足説明があり、協議した結果、原案どおり承認された。

- ・会場となる愛知工業大学自由ヶ丘キャンパスの都合上、候補である 9 月第 1 週は 1 日(火)～2 日(水)のみ利用可能な状況である。
- ・分科会①及び②の講師選定については、前回運営委員会後も情報提供などがなかったため、スケジュールを鑑み委員長校より 2 名の方（①小田光宏氏・②小嶋智美氏）を候補としてリストアップさせていただいた。また、開催日程が限られているため、予め依頼した際の対応の可否について両氏に確認させていただき、いずれも対応可能との回答をいただいている。
- ・分科会③の講師については、前回の運営委員会で候補が挙がっていたことから、同分科会担当委員に講師選定及び打診をお願いしたい。
- ・分科会師の講師料の取り決めは、謝礼（2 日分）5 万円＋交通費実費、宿泊費 1 泊 1 万円（前泊等を含む）となっている（『館灯』の原稿依頼は行わない）。
- ・各分科会のタイトル・内容はあくまで（案）であり、今後、各分科会の担当委員・講師でワーキング内容を詰めていく中で、タイトル等を変更することは可。

また、委員長校から、分科会①の講師候補である小田光宏氏に基調講演を依頼してはどうかとの提案があり、協議の結果、基調講演を実施する方向で検討を進めることが承認された。なお、委員長校より、基調講演を含めた講師料についての取り決めがないため、委員長校から小田氏へ打診を行い、内諾を頂いた場合には、講師料について常任幹事会で審議をお願いすることになるとの説明があった。

続いて、各分科会（ワーキンググループ）担当委員について協議を行い、下記のとおり決定した。

- ・分科会①・・・ ※澤木、杉山、丸、古川
  - ・分科会②・・・ ※田島、坪井、大橋
  - ・分科会③・・・ ※山際、石田、山田、菅野（※：グループリーダー）
- 委員長校（加藤・榎岡）は上記いずれかに参加

さらに、今後、各分科会でワーキング内容等の検討を進めるに当たり、大卒の研修プログラム（案）を決めておく必要があるのではないかと提案があり、協議の結果、以下の案を確認した。

【9 月 1 日（火）：研修 1 日目】

10：00～10：30 受付

10：30～10：40 オリエンテーション・講師紹介  
10：40～11：40 基調講演  
11：40～12：00 グループワーク紹介  
12：00～13：00 昼食  
13：00～17：00 分科会

※終了後、意見交換会

【9月2日（水）：研修2日目】

10：00～12：00 分科会  
12：00～13：00 昼食  
13：00～17：00 分科会  
14：30～16：30 全体会

・グループ発表 1グループ 15分=45分  
・講師総評3名 1名20分=60分  
・質疑応答 15分

3. 東海地区協議会ウェブサイトについて

コンテンツ係担当・澤木委員より、資料4に基づき、東海地区協議会ウェブサイト関連業務について報告があった。

4. 『館灯』58号について

副幹事校・菅野委員より、編集作業の進捗状況について、現在は第2校の原稿校正期間中であり、3月に第3校（最終校）を副幹事校が最終確認して校了とし、3月末に冊子の納品予定となっている旨の報告があった。

また、今回は見学会の講演録や学生協働フェスタなど例年以上に掲載原稿が増加し、総頁数が前年度比で約50頁の増となったことにより、『館灯』作成費が予算額（60万円）を超過することになったとの報告があった。なお、同作成費は東海地区協議会予算であることから、予算超過分の補填対応については、理事校（日本福祉大学）で検討中であることが併せて報告された。

5. その他

委員長校から次の3点について報告があった。

(1) 2020年度運営委員の体制について

運営委員校として新たに名城大学より参加の申し入れがあった。3月中旬頃には次年度の体制が決定する予定。

(2) 今後の研究会事業の運営について

今年度実施した一部業務委託等も含め、様々な視点から、今後の研究会事業の運営方法等について継続して検討していきたい。

(3) 運営委員会担当業務の分担について

従来での分担では、主幹事校・副幹事校の業務負担（特に『館灯』編集業務）が大きいことから、例えば「アンケート」に関しては結果集計や『館灯』原稿などについて別途担当者を充てるなど、各担当業務の分散を図り、主幹事校・副幹事校の業務負担を軽減できるよう検討を進めたい。

2020年度第1回運営委員会の開催日は、2020年4月13日～28日の間で日程調整を行うことを確認した。

以 上